

# 平成28年度決算のあらまし

平成28年度の伯耆町一般会計及び特別会計の決算状況をお知らせします。

## 一般会計

平成28年度の伯耆町一般会計決算は、前年度決算額に対して、歳入では4億1,379万円、歳出では4億8,970万円の増額となりました。

これは、小規模保育所・岸本放課後児童クラブなど子育て環境の整備、学校施設や体育館の長寿命化・耐震化などの学校・社会教育施設整備、町道改良や上・下水道施設などインフラ整備を積極的に実施し、中でも地方創生事業の一環として、町民の健康寿命の延伸・雇用の創出などを目的とした「生涯活躍のまち ほうき健康経営プロジェクト」を実施し、平成29年4月のフィットネスクラブ開設に向け、施設整備やトレーニングマシンの整備、運動プログラムの開発などを実施した結果です。実施にあたっては、国庫補助金や各種助成金、ふるさと納税、交付税措置のある有利な地方債を積極的に活用するなど健全な財政運営に努めました。

このほか、年明けからの大雪対応に要した除雪委託料が多額となったことも歳出増額の要因の一つです。

本町の歳入の多くを占める地方交付税の減少など厳しい状況下ではありますが、基金の積立や借入金の一部繰上返済も実施することで、将来の財政負担の軽減にも備えました。

## 一般会計収支

区分	歳入額①	歳出額②	歳入歳出差引③ (①-②)	翌年度へ繰り越すべき財源④	実質収支⑤ (③-④)	単年度収支⑥ (ア)-(イ)
平成28年度(A)	78億6,389万円	76億6,742万円	1億9,647万円	1,441万円	(ア)1億8,206万円	△2,501万円
平成27年度(B)	74億5,010万円	71億7,772万円	2億7,238万円	6,531万円	(イ)2億707万円	657万円
増減(A)-(B)	4億1,379万円	4億8,970万円	△7,591万円	△5,090万円	△2,501万円	△3,158万円



▲添谷分校軽トラ市の様子



▲小規模保育所「こどもパル」

### 歳入（収入）総額

**78億6,389万円**

(平成27年度に比べ5.6%増)

#### 【主な特徴】

- 増えたもの**
- 国庫支出金・地方創生加速化交付金の増加や町道改良事業に伴う社会資本整備総合交付金、保育所等整備費交付金の増加などにより1億6,147万円増加。
  - 町債・町民岸本体育館大規模改修工事や小規模保育所整備事業、町道改良事業など普通建設事業の増加により8,570万円増加。
- 減ったもの**
- 県支出金・地籍調査事業実施に伴う国土調査事業補助金や緑の産業プロジェクト費補助金などの増加により6,238万円増加。
  - 地方交付税・普通交付税及び特別交付税の減少により3,504万円減少。
  - 各種交付金・地方消費税交付金などの減少により2,520万円減少。

### 歳出（支出）総額

**76億6,742万円**

(平成27年度に比べ6.8%増)

#### 【主な特徴】

- 増えたもの**
- 普通建設事業費・町民岸本体育館の長寿命化や小規模保育所整備などにより4億144万円増加。
  - 補助費等・簡易水道事業特別会計の統合による水道事業会計補助金の増加などにより1億4,730万円増加。
  - 物件費・地方創生加速化交付金などを財源に実施するフィットネスクラブの開設に向けた施設整備・運営支援に係る委託料や臨時職員賃金の増加などにより1億2,279万円増加。
- 減ったもの**
- 積立金・地域振興基金積立金及び財政調整基金積立金などの減少により1億7,174万円減少。
  - 繰出金・簡易水道事業特別会計の廃止（水道事業に統合）などにより9,746万円減少。
  - 公債費・これまでに行った繰上返済の効果などにより1,525万円減少。

## 支出額と主な事業

**総務費 10億6,977万円（1人当り9.5万円）**

町政全体に関する運営管理、庁舎維持管理、戸籍、選挙などに関する経費

- ほうき健康経営プロジェクト事業 9,011万円
- 基金管理事業（伯耆町豊かなふるさと創造基金など） 4,321万円
- 自治体情報セキュリティ強化対策事業 3,549万円
- 庁舎周辺環境整備事業 2,204万円
- 添谷分校利活用整備事業 1,174万円

**民生費 21億8,948万円（1人当り19.5万円）**

- 児童・高齢者・障害者福祉などに関する経費 2億4,018万円
- 障害者福祉費 1億7,640万円
- 小規模保育施設・岸本放課後児童クラブ整備など 1億1,450万円
- 生活保護費 5,387万円
- 臨時福祉給付金 1,088万円
- 乳児家庭保育支援事業 1,088万円

**衛生費 6億5,428万円（1人当り5.8万円）**

健康診断、環境対策、ごみ処理などに関する経費

- ごみ処理関連事業 2億8,689万円
- 上下水道事業会計繰出金 1億8,968万円
- 基本健診、がん検診など 3,693万円
- 使用済み紙おむつ燃料化事業 3,351万円
- 予防接種事業（法定、任意、インフルエンザ） 3,103万円

**農林水産業費 8億241万円（1人当り7.1万円）**

- 農林業振興、土地改良、農業委員会などに関する経費 1億8,494万円
- 農業集落排水事業特別会計繰出金 1億572万円
- 地籍調査事業 1億106万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業 3,294万円
- 農業機械整備補助（大型機械導入、がんばる農家プラン事業など） 2,717万円
- 畜産業費 2,058万円
- 有害鳥獣駆除事業 1,058万円

**商工費 9,498万円（1人当り0.8万円）**

商工業、観光の振興に関する経費

- 索道事業特別会計繰出金 1,855万円
- 観光地魅力づくり事業（樹木高原展望台周辺整備など） 1,006万円
- 大江山麓リゾート観光・田舎ものマッチング事業 577万円

**土木費 4億4,867万円（1人当り4.0万円）**

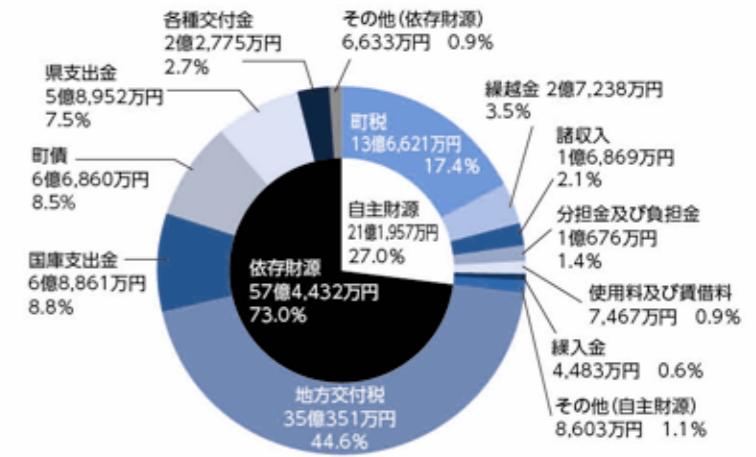
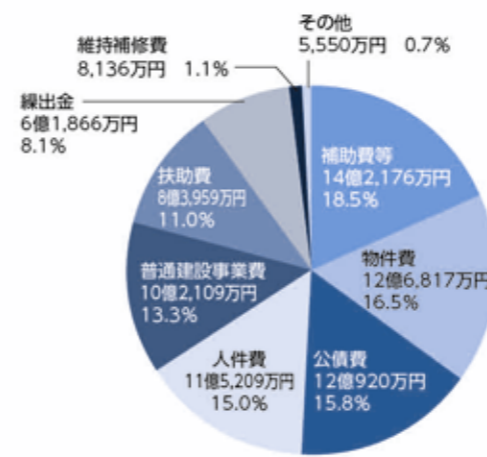
道路の整備などに関する経費

- 町道改良事業（福原原線、殿河内1号線、清山1号線など） 1億7,748万円
- 道路除雪事業（車両維持費含む） 7,851万円
- 町道管理事業 4,774万円

**消防費 2億8,278万円（1人当り2.5万円）**

消防団活動、防災対策などに関する経費

- 消防施設整備事業（耐震性貯水槽設置工事など） 3,673万円
- 消防団運営事業 1,005万円



**教育費 8億1,881万円 (1人当たり7.3万円)**

学校教育、社会教育、スポーツ振興などに関する経費  
岸本体育館大規模改修・海洋センター体育館改修 1億9,174万円  
小学校施設耐震化等改修事業(二部小、八郷小) 6,512万円  
少人数学級実施事業(小・中学校) 3,200万円  
総合スポーツ公園木製遊具更新 1,497万円  
学校給食費補助(小・中学校) 754万円

**公債費 12億920万円 (1人当たり10.8万円)**

借入金返済に要した経費  
通常の返済額 10億7,846万円  
繰上返済額 1億3,074万円



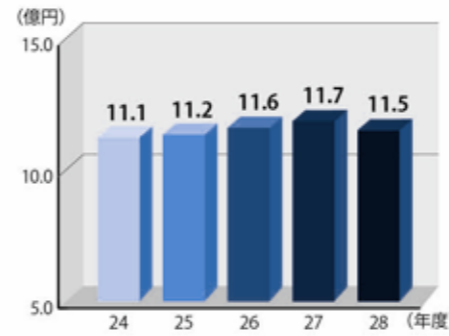
▲岸本体育館



▲ちびっこ広場大型遊具

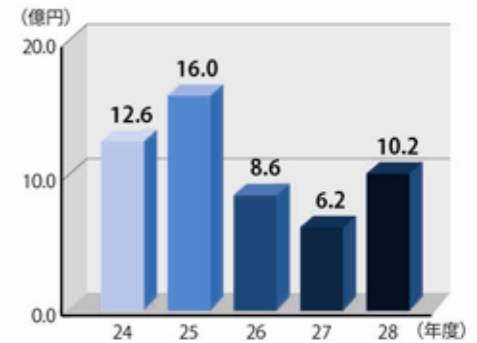
**人件費の推移**

人件費全体では、前年度比約0.2億円の減少となりました。  
主な要因は、制度改正による共済費の減少や前年度より退職者数が減少したことによる退職手当特別負担金の減少によるものです。



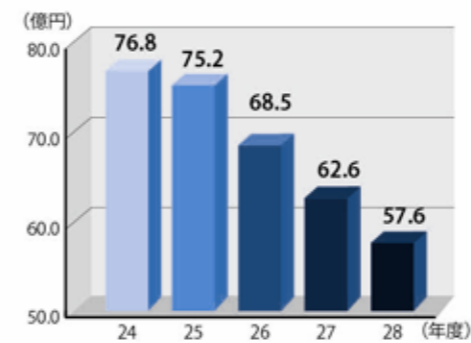
**普通建設事業費の推移**

平成28年度は、前年度比約4億円の増加となりました。前年度に実施設計を行った町民岸本体育館や二部小学校、八郷小学校の長寿命化・耐震化等工事のほか、増加する乳幼児の入所希望及び放課後児童クラブの希望者に対応するため小規模保育所及び岸本放課後児童クラブ(第2ルーム)の設置、町道籠原橋原線や町道殿河内1号線などの町道改良事業や消防施設整備事業として耐震性貯水槽(防火槽)を3基(吉長、アノピア、栃原)設置しました。  
また、ふるさと納税を活用し、総合スポーツ公園ちびっこ広場の大型木製遊具も更新しました。



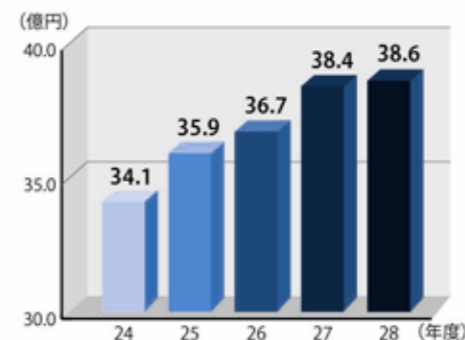
**地方債(借金) 残高の推移**

「借入額が返済額を上まわらないこと」を前提とし、借入金の管理をしています。  
通常の返済のほか、繰上返済(1億3,074万円)により残高が減少しました。  
【町民1人あたり51.3万円(前年度比▲3.8万円)】



**基金(貯金) 残高の推移**

将来の財政負担に備えた財政調整基金の積立(77.2万円)や全国から寄せられたふるさと納税について、伯耆町豊かなふるさと創造基金へ積立(3,267万円)を行いました。  
また、地方交付税の減少など厳しい財政状況下において、事業の目的に沿った基金の取崩し(3,761万円)により、住民サービスの向上を図りました。  
【町民1人あたり34.3万円(前年度比+0.4万円)】



**特別会計**

特別会計は、町が特定の事業を行う場合に一般会計とは区分して経理するために設けている会計です。保険料や料金収入などによる独立採算を原則としますが、会計によっては一定のルール等に基づいて一般会計が繰出(負担)を行っています。

平成28年度の特別会計の決算状況のうち、変動があった会計は、次のとおりです。  
まず、上・下水道事業では、「伯耆町簡易水道事業特別会計」を平成28

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引
伯耆町町営公園墓地事業特別会計	670	77	593
伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計	388	2,776	△2,388
伯耆町地域交通特別会計	11,911	11,911	0
伯耆町国民健康保険特別会計	157,497	149,320	8,177
伯耆町後期高齢者医療特別会計	12,425	12,413	12
伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計	1,031	1,031	0
伯耆町農業集落排水事業特別会計	26,629	26,629	0
伯耆町小規模集合排水事業特別会計	8,174	8,174	0
伯耆町公共下水道事業特別会計	21,708	21,708	0
伯耆町浄化槽整備事業特別会計	2,099	2,099	0
伯耆町索道事業特別会計	4,256	5,075	△819
合計	246,788	241,213	5,575

(単位:万円)

伯耆町水道事業会計(企業会計)	決算額
収益的収入	26,294
収益的支出	30,133
資本的収入	15,577
資本的支出	24,875

(単位:%)

比率区分	説明	伯耆町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
		28年度	27年度		
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字額の、標準財政規模(人口、面積等から算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率	-	-	14.99	20.0
連結実質赤字比率	町全体での実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率	-	-	19.99	30.0
実質公債費比率	町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率(18%を超えると借入するために許可が必要となる)【過去3か年平均】	9.0	9.8	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率	-	-	350.0	

※「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」の比率欄「-」は、それぞれ実質赤字が生じていないことを表しています。  
※「将来負担比率」の比率欄「-」は、現在の預金などで借金などの将来的な負担をカバーできていることを表しています。

**健全化判断比率**

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成28年度決算に係る健全化判断比率の算定結果をお知らせします。

各比率は地方公共団体の財政の健全性を表しており、伯耆町はいずれの比率も健全段階に位置しています。平成28年度は、将来負担比率もマイナスとなりました。(現在の預金などで借金などの将来的な負担をカバーできる水準)